

平成28年度 輪島市立鳳至小学校 前期 学力向上プラン

プラン名 自分の考えを持たせよう!

1 現状・課題（Ｒリサーチ）

	現在の姿	科学的なデータ（分析・原因）
授業	語彙不足で題意を捉えきれない。自分の考えを適切に表現できない。	H28年度 全国学力調査（国語B 2—2（1）） ・課題が何かを捉えて自分の考えを書く 正答率 28.5% H28年度 県基礎学力調査（国語 8—2） ・心情を表す言葉の理解 正答率 29.6%
基盤	自分の考えを表現することに苦手意識を持っている。	H28年度 全国学習状況調査（質問紙（58）） ・学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか。思う・やや思う 52.7% H28年度 県基礎学力調査4年（質問紙2（1）） 自分の考えを発表したり話し合ったりすることは好きですか。 あまり好きではない・好きではない 28.1%

2 目標（Gゴール）

	目指す姿	科学的なデータ（目標）
授業	適切な言葉を使って自分の考えを表現できるようにする。	児童：ノート、発言、ふりかえりにおける考えの表現 70% 授業：自分の考えを表現させる課題・発問・切り返し 70%
基盤	自分の考えを表現することを苦手だと感じないようにする。	取り組み：自分の考えを表現し、適切に評価している。70% 意識調査：学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか。 思う・やや思う 30%未満

3 仮説・具体的取組（Pプラン・Aアクション）

	取組	ポイント	指標
授業	学習に必要な言葉や用語を用いて自分の考えをもたせる。	・必要な言葉や学習用語を提示する ・三角ロジックを意識して表現させる。 ・課題、発問、切り返しを吟味する。	70%以上
基盤	児童の表現意欲を喚起させ、満足感が味わえるようにする。	・チャレンジ短作文における児童の意欲を高める 評価方法を工夫する。 ・必要な言葉や学習用語を提示・配布する。	70%以上

4 実行・検証と評価（Dドウ・Cチェック）

月	取組（何を、どのように）	検証（何で、いつ、誰が）	評価（◎○△）
4	□テーマに沿って作文を書いている。	短作文（部会、全体研究会）	
5	□「大切」を手がかりに自分の考えを持ち、表現している。	ノート・発言・授業評価表・（5月18日、授業整理会、全員・担任）	
6	□友達の話や切り返しの発問を手がかりに自分の考えの理由や根拠を見つけようとしている。	ノート・発言・授業評価表・（6月20日校内研修、授業整理会、全員・担任）	
7	□70%の児童が自分の考えを表現している。 □必要な用語や言葉を使って作文を書いている。	ノート・発言・児童アンケート・短作文・授業評価表 （担任・校内研修、授業整理会、全員）	

平成○年度 ○○立 ○学校 中期 学力向上プラン テンプレート

プラン名 ○○○○○○○○

1 前期プランの実施を終えての現状・課題（Ｒリサーチ）

	現在の姿	科学的なデータ（分析・原因）
授業		
基盤		

2 目標（Ｇゴール）

	目指す姿	科学的なデータ（目標）
授業		
基盤		

3 仮説・具体的取組（Ｐプラン・Ａアクション）

	取組	ポイント	指標
授業			
基盤			

4 実行・検証と評価（Ｄドゥ・Ｃチェック）

月	取組（何を，どのように）	検証（何で，いつ，誰が）	評価 （◎○△）
8			
9			
10			
11			

12			
----	--	--	--

平成○年度 ○○立 ○学校 後期 学力向上プラン テンプレート

プラン名 ○○○○○○○○

1 評価問題を終えての現状・課題（Rリサーチ）

	現在の姿	科学的なデータ（分析・原因）
授業		
基盤		

2 目標（Gゴール）

	目指す姿	科学的なデータ（目標）
授業		
基盤		

3 仮説・具体的取組（Pプラン・Aアクション）

	取組	ポイント	指標
授業			
基盤			

4 実行・検証と評価（Dドゥ・Cチェック）

月	週	取組（何を，どのように）	検証（何で，いつ，誰が）	評価 (◎○△)
1	1			
	2			
	3			
2	4			
	5			
	6			
	7			
3	8			
	9			
	10			